

博士とは何か？

社会に出る前にあらためて考えることで未来が開けます

日時：2020年5月22日（金）12:15-13:15

会場：Room C

講演者：

村磯 鼎（合同会社 CPP：代表社員、株式会社オリゴジェン：取締役）

私は海外の日本人研究者の帰国支援という仕事をしていると思われています。故に博士取得者がアカデミア以外でどう活躍できるのか紹介して欲しい、さらには民間企業に就職するにはどうしたらよいのか教えて欲しい、この2点のリクエストが非常に多いのです。もちろんそれを手取あしとりお教えすることも可能ですが、それでは博士のプライドを毀損しかねません。詳細は講演で明らかにしますが、アカデミアの外でキャリアを見つけれられない、あるいは実際の民間企業の就活法がわからないとしたら、それは皆さんが自分が博士であるということをすっかり忘れていることが根本的原因と思っています。

博士というのは何かをするためのフリーパスではありません。何故か博士であるから社会的に優遇されるべきだと考える人は多いのですが、それは博士として考え方を間違えているでしょう。修士ならある程度そのような社会的甘えは許されますが、博士にそのような甘えを許してしまつては社会が成り立ちません。博士とは何か自問し、博士だから何ができるのか理解し、社会の居場所を自分で探すのが本来の博士と思っています。少々厳しい言い方かもしれませんが、本来それだけの力があるのが博士です。講演では博士に自信と希望を与え、社会に出ることこそが博士の使命であることを理解してもらおうと思っています。

キャリア支援担当：林 良樹（筑波大学）